

## 広報部から、冊子の制作について

2021年度の事業計画の一つに「AAJPSのアーカイブの最終的な納め先の実態を調査しその可能性を探る」とあり、実際に美術館等に全日と491の写真を紹介するための冊子（リーフレット）の必要性が出てきました。それを受け広報部では10月17日より冊子の検討に入りました。

広報部会は14回開かれ、4月17日に冊子試案をチーム連絡会で報告、5月23日拡大広報部会、6月11日の理事会での意見を受け、現在の形となりました。

広報部会では「もう一つの写真記録」の写真を知っていただくためには何が必要かの議論を重ね、第一には写真を全面に出すこと、年代順に並べること、年表は必要であるが最小限にすること、文

章の表現は写真の中に入れ込むのは大変難しいので極力入れないこと、などが確認され、その方向で編集が行われました。また全日の活動の全容についてはシンポジウム「日本写真の1968」全記録より金子隆一さんの文章を載せることで説明をし、さらに外部の方からの評価として写真評論家の飯沢耕太郎さんの推薦文を最後に掲載しました。

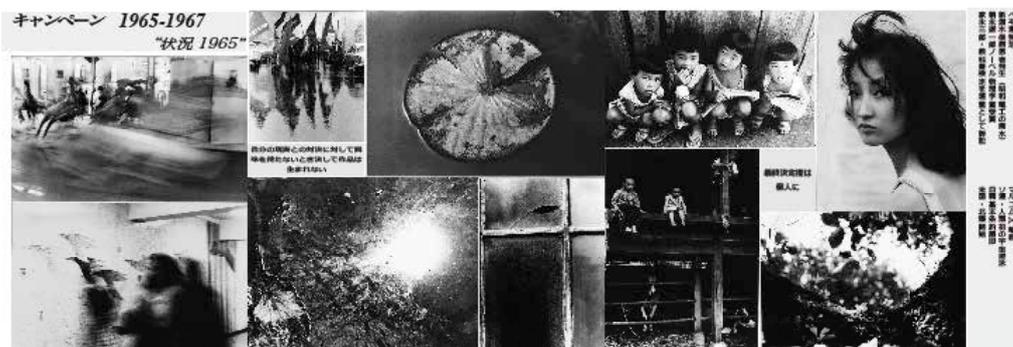
### 冊子の仕様

サイズ B5 判横 中綴じ

本紙 32頁 + 表紙4頁 制作部数 600部

表紙 アートポスト 160kg カラー印刷

本紙 アート 110kg モノクロ印刷



## アーカイブ進捗状況 ('22/4/11-6/10)

### 長崎チーム

長崎4次ベタチェック二回目、西垣(17本)・北条(23本)・前田(13本)の計53本、同3回目矢野(8本)・青木(2本)・井上克彦(31本)の計41本、合計94本終了。

2次長崎ベタチェックコマを収集し、2次セレを行い絞り込んでいます。小川分(240コマ)・緒方分(184コマ)・西垣分(165コマ)終了。

### 足尾・谷中チーム

・「足尾・谷中撮影行動資料」のテキスト化を行いました。

・新たにセレクトした400枚のプリントと70年～76年当時のキャビネと六つ焼きを被写体別に分類し、再度セレクトを行いました。今後の最終形の作成に向けて、柔軟な展開が可能になるように、なるべく厚い層として残しました。

### 大阪撮影チーム

4月以降の進捗はありません。サイボウズ office 掲示板の標題「大阪撮影ベタチェック」で第6次大阪撮影のベタチェックを行っているので、是非チェックをお願いします。

### 広島・基町チーム

残された4,000本に及ぶネガをスキャンするための目録作りに着手しています。

### 状況キャンペーンチーム

1969年1月の東大闘争を中心にしたネガ36本をスキャン致しました。

ホームページがリニューアルされました  
<https://aajps.or.jp>



## 各部会報告 ('22/4/11-6/10)

### システム運用部会

AAJPS ホームページの書誌と INDEX の見直しにより、修正案を理事会に提案し、数度の修正を重ねた結果、5月理事会で承認されたので、6月1日にホームページを更新した。皆さん、閲覧してご意見をお寄せください。

### データベースワーキンググループ

- ・フィルム目録の統一フォーマットが決まりました。移行作業に着手します。
- ・資料類のデータは今後 pdf 形式で保存することを決めました。
- ・プリント目録の統一フォーマットづくりを急ぎ、資料目録の検討を進めます。
- ・一方、デジタルデータを統一的に扱うためにハード・ソフト両面から具体的なシステムづくりを推進します。

### 広報部

制作中の AAJPS の冊子は理事会での審議を終え、印刷・製本へと進んでいます。もう少しで皆さんのお手元に届きます。今後は本来の目的であった冊子の活用とアーカイブの構築へと向かいます。

#### 広報部員としての感想

・ 私たちはネットを使い 1965 年から年代を追って写真集になっているものを中心に一枚一枚写真を見ながら検討していきました。写真を見ながら話をしていくことは自分の感性だけではなく他の人の感じ方の違いを見ることでもあり新鮮でした。最も編集が大変だったのが 1968 年です。1968 年は激動の時代であり、全日の活動でもたくさんの活動が同時並行で起こっていました。そのスケール感が冊子ではなかなか表現できないのが残念です。

途中から現在スキャンと整理をしている各チームの写真の紹介（北海道 101、足尾・谷中、長崎、全日コン、いわき、大阪撮影、基町、三里塚、筑豊、われわれの写真）のページも増やすこととなり各チームの皆様には大変無理なお願いをし、それに応えていただき感謝しています。トップの写真から今整理している写真まで全日の写真の中に脈々と流れている地下水を感じ「もう一つの写真記録」の「もう一つ」の意味を改めて感じました。

・ 他に類を見ない写真群だと信じています。

今回この冊子によって、1965 年から 1979 年までの約 15 年間に全日・四九一が生み出した写真の全体像を、大枠とはいえ、初めて「見る」ことが出来たと思っています。

・ 先年研究会や勉強会で様々な視点で全日の写真へのアプローチを試み、今回冊子のために写真を集め検討してきた過程で、改めて自分の人生も含め“状況”との関わりを考えることが出来ました。それを冊子という形の中でどう表現できるのか、そしてそれが写真のもつ力として表現できるのかと思いつつ、結局は状況と写真のもつ力に導かれてきたと思っています。八ヶ岳を起点としたキャンペーンの力と意義を改めて認識致しました。やはり我々のかかわってきたことは“もう一つの写真”として残しておきたいと思います。

## TOPIC

### 写真借用依頼について

(1) 2022 年 4 月 4 日

株式会社小学館より、『日本写真大全（全 3 巻）』

(仮) (著者 飯沢耕太郎) への掲載のため。

(2) 2022 年 4 月 12 日

有限会社ゆいぼうとより、書籍（個人史）への掲載のため。

戦後も続いた「原爆スラム」を若い読者に知ってもらいたい。

(3) 2022 年 5 月 27 日

広島市基町小学校より、小学生を対象とした基町の歴史をより身近に考えるための資料のため。

以上 3 件について貸し出しを行いました。

### 名古屋市美術館に公害のプリントを寄託

名古屋市在住の松本吉生さんは手元に保管していた公害のプリントを他の中部連盟の文献資料と共に名古屋市美術館に寄贈・寄託しました。

'65～'79 までの全日・491 のアーカイブ作りは着々と進んでいます。お手持ちのネガや資料の情報をお知らせください。

お問い合わせ等：277-0053 柏市酒井根 2-20-11 東 闊 hig811@gmail.com